

目標達成計画

事業所名 愛の家グループホーム郡山日和田

作成日：平成 28年 4月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくななるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	事業所が3階建てであり、有事の避難誘導が困難であることが想像される。法定年2回の避難訓練だけでは、職員全員が訓練参加と誘導方法を身に付けるには少ないと考えられる。	①職員全員が、避難誘導方法の訓練に参加することが出来ている。 ②年6回、避難誘導の訓練を実施する。	・6月と11月に火災のホーム全体の避難訓練を実施。(11月は夜間想定) ・1月、3月、7月、10月、に職員のみで避難誘導方法のシミュレーションを実施する。	9ヶ月
2	13	避難訓練の際、近隣住民の協力、参加が実現できていない。協力体制を日ごろから整えておくことが必要である。	避難訓練を実施した際、地域の方に訓練に参加、協力頂く。(年2回のうち、どちらか1回は必ず)	・運営推進会議を通し、地域のご参加を頂くためのアイデアを検討する。繋がりを構築する。 ・地域の民生委員、町内会長などに参加を呼び掛けてみる。 ・町内会を通し、参加を呼び掛ける。(回覧板他)	10ヶ月
3	13	避難訓練は実施されているが、火災想定だけであり、地震や水害を想定した訓練が実施されていない。	地震と水害を想定した訓練を、1年の中でそれぞれ1回ずつは実施する。	・7月は水害想定の避難誘導訓練を実施する。 ・3月は地震想定の避難誘導訓練を実施する。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。